

実践記録

学校/学年	小学校 / 2 年	
教科等：単元名	学級活動：大人といっしょにつかおう	
キーワード	安全 大人 インターネット	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d: 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	d1-1: 大人と一緒に使い、危険に近づかない
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	インターネットは、大人と一緒に使うと安全であることがわかる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶ Net モラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶ Net モラル」

○ 展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1, インターネットには、どんなページがあるのかを考える。	○ インターネットにはどんなページがあったのだろう。 ・ ゲーム ・ 天気予報 ・ 調べるページ
展開	2, 映像を視聴し、おかしいページや気持ちの悪いページが出てきたら、どうすればいいのかを考える。	○ 映像を視聴する。 ・ こわいことがあるんだ。 ・ どうしていいかわからない。 ○ おかしいページが表示されたらどうしよう。 ・ ×を押してけせばいい。 ・ 大人の人を呼ぶ。
おわり	3, インターネットを使うときはどのようにすればいいのかを話し合う。	○ インターネットはどのように使うといいだろう。 ・ 大人の人がいるところでつかう。 ・ 大人といっしょにつかう。 インターネットを使うときには、大人の人と一緒に使うと安全であることがわかる。

○ 授業の成果

- ・ インターネットを楽しんで使っていた子どもたちが、インターネットには役立つ情報もあれば、本当ではないことや不正なページがあることを知り、安全に使うとする意識を持つことができた。

○ 指導のポイント・留意

- ・ 万一、変な写真や気持ちの悪いページが表示されたときの対処法を理解できているか。